

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月 日

協議会名: 当別町地域公共交通活性化協議会  
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
当別町地域公共交通活性化協議会	JR石狩当別駅南口～とうべつ整形外科～みどり野会館(青山線①) 運行日数 364日 運行回数 1,337回	地域住民の数も減少傾向にあり、利用者も増加していないが、ダイヤ・運行経路などを地域の実態に合わせてダイヤの見直しを行った。また、予約型の使用方法を時刻表に記載した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施された。	C 1日当たりの平均利用者数 目標 25.78人/日 実績 21.03人/日 1便当たりの利用者数 目標 2.03人/便 実績 1.65人/便	今後とも地区の人口は減少傾向にあるので、ダイヤや運行形態について検討する。
当別町地域公共交通活性化協議会	JR石狩当別駅南口～とうべつ整形外科～青山会館(青山線②) 運行日数 245日 運行回数 980回				高齢者が多い地区なので予約型線の使用方法やふれあいバスの乗り方などわかりやすく周知し、利用につなげる。
当別町地域公共交通活性化協議会	JR石狩当別駅南口～当別町内～JR石狩当別駅南口(市街地予約型線) 運行日数 245日 運行回数 865回 【車両減価償却費等国庫補助】	利用者からのアンケート結果をもとに、デマンド対象地区の利用者の声を聴きニーズを把握した。また、バス停名と近隣の施設との関連がわかりづらいという意見をもとに、バス停の名称の変更など、サービス向上をさせた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施された。	A 1日当たりの平均利用者数 【10～3月】 目標 11.34人/日 実績 25.69人/日 【4～9月】 目標 5.31人/日 実績 8.02人/日 1便当たりの平均利用者数 【10～3月】 目標 2.01人/便 実績 4.17人/便 【4～9月】 目標 1.34人/便 実績 1.55人/便  交通弱者の利用者増加 目標 968人 実績 2,702人	利用者は、全体的に伸びてきているが、まだ予約型線の使い方がわかっていない方が見受けられるので今後とも、使い方を周知していく。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成31年 月 日

協議会名: 当別町地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>総合時刻表の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスの総合時刻表を作成し、ふれあいバスの乗り方、市街地予約型線の使い方、系統図やJRとの乗り継ぎ情報などを記載し、町内外の人にわかりやすい時刻表とした。</li> <li>総合時刻表は広く町民に周知するために全戸配布するとともに、公共施設、福祉施設や道の駅などにも設置した。</li> </ul>	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き時刻表を作成し、全町民に配布する。</li> <li>その時その時の課題に沿った内容を時刻表に記載し、住民の利便性を高める。</li> </ul>
<p>高齢者向け冊子の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者による運転の危険性とふれあいバスの乗り方を記載した冊子を作成し、自動車の代替交通としてのバスが有効であることを訴える。</li> <li>地域の高齢者クラブに赴き、冊子を配付し講座を実施した。</li> </ul> <p>【実施回数】 4団体に実施。今後も、高齢者クラブの総会にて講座の周知をしていき、実施していく。</p>	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も高齢者クラブへの講座の周知をしていき地域に赴き直接住民に公共交通の大切さを説明し、地域の声を聴いていく。</li> </ul>